

# 八木北小

# 校舎外壁塗装予算化へ



コンクリートがはく離したまま放置されている校舎



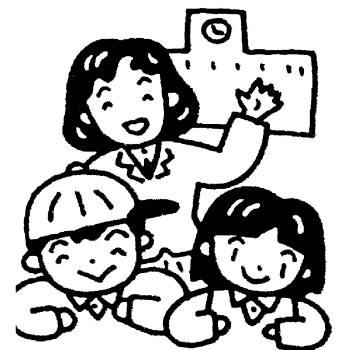
日本共産党市議会議員

## 小田 桐たかし

### 校舎の実態を写真で示し

## 小田桐市議 改修迫る

昨年3月、市議会教育福祉常任委員会で『子どもにゆきとどいた教育を求める請願書』を審査した小田桐たかし市議は、八木北小校舎外壁の写真を示し、塗装のほがれやコンクリートのはく離の実態を示し、改善を迫ってきました。



市教育委員会は、「後期基本計画（H25～31年度）や中期実施計画（H25～27年度）に位置付け対応してる」「各学校の状況等を再確認し計画にまとめる」と答弁するも、具体的な学校名を最後まで明言しませんでした。

### 未来担う子どもを大切にす学校環境を

市当局はいま『学校耐震化100%』と誇示する一方、校舎の老朽化は深刻です【左表】。しかし、昨年5月9日、市議会に配布した『中期実施計画事業一覧』では『学校校舎外壁改修事業』の位置づけは「H26年度江戸小、H27年度1校で総事業費4900万円」のみ。抜本的解決策を示せないままです。

一方、市議会では、議会質問や予算要望、教育福祉常任委員会による市議会初の市内小中学校視察を通じて、改善を迫っています。そして今年3月議会の議案『H25年度補正予算（第7号）』に江戸川台小とともに、『八木北小校舎外壁改修事業3780万円』が盛り込まれました。

対象		築20年以上の棟数	未改修棟数	割合
H25年3月31日現在				
小学校	校舎	46棟	20棟	43%
	体育館	15棟	5棟	33%
中学校	校舎	30棟	12棟	40%
	体育館	13棟	5棟	38%